

公益社団法人いわて被害者支援センター令和7年度事業報告書

1 事業実施期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日

2 事業内容

事業名	事業内容	実施月日等
電話相談・面接 相談事業	<p>事件・事故電話相談</p> <p>事件や交通事故の被害者等からの電話相談を受けて必要な教示や他機関の対応が必要と認められる相談については当該機関への引継ぎや連携支援に努めた。</p>	<p>月～金曜日 (土日祝日を除く)</p> <p>10:00～17:00</p> <p><u>162件</u></p>
	<p>性犯罪被害電話相談</p> <p>性暴力被害相談専用電話「はまなすサポートライン」を通して、被害者等からの電話相談を受け情報の提供や教示を行ったほか、必要に応じて面接相談につなげた。</p>	<p>月～金曜日 (土日祝日を除く)</p> <p>9:00～17:00</p> <p><u>275件</u></p>
	<p>面接相談</p> <p>電話相談などでは、必要な対応ができない被害者等については、センターの面談室または被害者等が希望する場所において支援活動員が面接の上、必要な情報提供等や支援を行った。</p>	<p>月～金曜日 (土日祝日を除く)</p> <p>10:00～17:00</p> <p>[事件・事故] <u>37件</u> [はまなす] <u>45件</u></p>
	<p>メール相談</p> <p>被害者等からの電子メールによる相談を受け、内容に応じて必要な教示や情報提供を行った。</p>	<p>[事件・事故] <u>43件</u> [はまなす] <u>152件</u></p>
物品の供与・ 役務の提供事業	<p>物品の供与、カウンセリング、直接支援</p> <p>被害者等の要望を踏まえ、精神的負担の軽減を図るため、病院、警察、裁判傍聴、弁護士事務所等への付添いや自宅等の訪問、生活支援等を行った。</p>	<p>物品の供与 取扱なし カウンセリング <u>29回</u> 直接支援 [事件・事故] <u>33件</u> [はまなす] <u>37件</u></p>

	<p>犯罪被害者等ワンストップ支援調整</p> <p>多機関ワンストップ体制に基づき、県、警察、当センター及び関係市町村等と必要に応じて支援調整を実施した。（支援制度の提供など）</p>	<p>支援調整会議</p> <p><u>3回</u></p>
<p>被害者給付金 申請手続き補助</p>	<p>犯罪被害者等給付金の支給対象者と認められる被害者等に対し、同制度の説明及び申請手続きの補助業務を適切に対応した。</p>	<p>申請手続きの補助</p> <p><u>2件</u></p>
<p>性犯罪・性暴力被害者に対する支援事業</p>	<p>1 はまなすサポートセンターとして、被害直後から総合的支援を提供するため、夜間休日コールセンターなど関係機関と連携するとともに緊急対応体制を確立し24時間365日の対応を図った。 *夜間休日常時2名待機（交替制）</p> <p>2 岩手県性犯罪被害者支援医療費公費負担実施要綱に基づく申請手続きへの対応</p>	<p>・コールセンターから引継ぎ</p> <p><u>118件</u></p> <p>・オンコール対応</p> <p><u>3回</u></p> <p>・申請手続き取扱なし</p>
<p>支援活動員養成 ・研修事業</p>	<p>養成講座</p> <p>養成講座を開設し、支援活動員として必要な基本的知識・技能等について、研修を行った。</p>	<p>5月15日～12月9日までの間</p> <p>8回実施</p>
	<p>継続研修会（シンクアップ）の実施</p> <p>支援活動員に対し、専門的又は新たな知識・技能等を習得させるための継続研修を行った。 *4月2日 任命書交付式兼研修会</p>	<p>4月2日～翌年2月6日までの間</p> <p>8回実施</p>
	<p>「全国被害者支援フォーラム2025」及び「令和7年度秋期全国研修会」への参加</p> <p>東京都内で開催された犯罪被害者支援フォーラム及び全国被害者支援ネットワーク全国研修会に支援活動員が参加し研修を受けた。</p>	<p>・〔フォーラム〕 10月17日</p> <p>・〔全国研修〕 10月18日、19日</p> <p>上記フォーラム・研修会 3名参加</p>
	<p>全国被害者支援ネットワーク北海道・東北ブロック質の向上研修への参加</p> <p>支援活動員として必要な基本的知識・技能等について研修を行った。</p>	<p>・上半期研修会 7月10日、11日</p> <p>仙台市で開催 2名参加</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・下半期研修会 10月30日、31日 山形市で開催 1名参加
	グリーフケア・アドバイザー講座の受講 遺族支援など適切に対応するためのスキル向上を図った。	7月 東京都で開催 4名参加
	日本トラウマティック・ストレス学会の受講 精神疾患に対する理解などスキルアップを図った。	東京都で開催 3名参加
	日本心理臨床学会を受講させスキルアップを図った。 心理士として最新の知見などスキルアップを図った。	神戸市で開催 1名参加
自助グループ 支援事業	被害者同士で支え合う自助グループの活動に対し、開催場所の提供や開催に伴う連絡等を行い、自助グループ活動が適切に行われるよう支援を行った。	活動支援 6回 4、8、10、12月及び翌年 3月実施
調査・研究事業	他県被害者支援センターとの情報交換及び全国被害者支援フォーラムなどを通じて必要な調査・研究を行った。 岩手県犯罪被害者等支援審議会並びに盛岡市犯罪被害者支援推進協議会等で提言した。 中谷理事長が委員として出席	<ul style="list-style-type: none"> ・他県センター及び各種研修会を通じて 随時研究 ・岩手県審議会 11月14日 ・盛岡市推進協議会 8月20日
広報啓発事業	「犯罪被害者支援県民のつどい」 岩手県公会堂大ホールで開催し被害者支援について県民へ周知を図った。 第1部 開会セレモニー 理事長挨拶、来賓祝辞、感謝状贈呈 第2部 基調講演 「想いと願い」 京都アニメーション放火殺人事件 講師（ご遺族） 渡邊達子氏、渡邊勇氏 第3部 岩手県警察音楽隊ミニコンサート	10月25日（土） 盛岡市で開催 参加者 約300名

<p>「犯罪被害者支援啓発パネル展」 1週間から10日間の期間で市町村巡回による開催 各市町村住民の方に被害者支援の浸透を図った。</p>	<p>5月～翌年1月 32市町村等で開催</p>
<p>「いのちの尊さ・大切さ教室」 学校や一般団体などで開催。被害者遺族等から自らの 体験を講演していただき犯罪被害の実態やいのちの大 切さについて理解を求めた。</p>	<p>3箇所で開催 県立杜陵高校定時制 盛岡大学附属高校 盛岡中央高校</p>
<p>「イオン黄色いレシートキャンペーン」 イオンで実施する毎月11日「社会貢献活動の日」レシ ート募集活動に参加し広報を実施。</p>	<p>4月、8月、9月、11月、 12月、1月、3月 7回参加</p>
<p>「岩手県警察音楽隊演奏会」（創設60周年記念） 入場受付時におけるチラシ・パンフの配布及び啓発パ ネル展示をするなど広報を行った。</p>	<p>11月8日（土） 盛岡市民文化ホール 大ホールで開催</p>
<p>「全国犯罪被害者週間キャンペーン活動」 「犯罪被害者支援ミニコンサート」 イオンモール盛岡「イーハトーブ広場」において県警 音楽隊による犯罪被害者支援ミニコンサート開催 パネル展示やチラシ配布などを行い理解と協力を呼 びかけた。</p>	<p>11月27日開催 観客約250名</p>
<p>講演など ・警察学校 ・犯罪被害者等支援条例勉強会（各市町村など） ・盛岡医療スポーツ専門学校 ・条例研究会主催シンポジウム ・岩手県社会福祉士会研修会 ・岩手大学教育学部 ・北上市相談員研修会 各講演等で「民間団体における被害者支援」の理解と協 力を求めた。</p>	<p>警察学校 1回 条例勉強会 11回 研修会など 5回 計 17回</p>
<p>企業・団体等への広報啓発 被害者支援への理解と協力を求めて直接訪問による 広報啓発を行った。</p>	<p>企業・団体等 32カ所</p>

その他の事業	<p>関係機関等との連携確保</p> <p>県及び県警察、盛岡地方検察庁、岩手弁護士会等、関係機関と緊密な連携を図りながら、寄り添った支援が行われるように努めた。</p> <p>特に、県、県警及び当センターによる三者会議を随時開催すると共に、関係する会議へ参加し情報交換及び共有を図った。</p>	<p>被害者等支援連絡会 など 3回</p> <p>三者会議 7回</p>
	<p>事務所移転の準備</p> <p>移転に向け予算見積り調査など実施</p>	

法人の運営体制の充実を図るための取組

○ 会員管理システム整備による組織の基盤づくり

当センター事務局は、限られた体制のなか支援員兼務で約 2,000 の賛助会員及び寄附金納入者等について、入会や入金管理をしている。

これまで運用しているシステムが、PC の Windows11 への変更や金融機関のビジネス WEB 導入などに伴い、入力作業が滞るなど管理上支障が生じていた。

このことから、業務の迅速適正な運営を図り、支援活動の充実及び効率的な広報啓発活動による会員の拡充など組織の基盤づくりのために会員管理システムの整備を行った。